

国際帝国主義の侵略反革命・第三世界支配を粉碎し、全世界の帝国主義を打倒せよ！世界プロレタリア革命—世界プロレタリア独裁—共産主義を実現する新しいインターナショナル（世界単一党）を国際階級闘争の最前線に創建せよ！

7・15共産同政治集会へ エストラーダ派の反撃と フィリピン中間選挙 6月アジア共同行動報告	2001年 7月1日 第552号 編集発行人 海路 薫 一部 300円	烽火 NOROSHI	共産主義者同盟（全国委員会） ■ 大阪戦旗社 大阪市北区本庄西2-8-19 明豊ビル401号 大労協内 TEL(06)6371-3706 ○郵便振替 00930-0-63333 ○銀行口座 第一勧銀 551-1058150
---	---	----------------------	---



「つくる会」教科書の採択を絶対阻止せよ！（写真は6月11日・東京）

「つくる会」の教科書の採択を阻止せよ！新自由主義・ 戦争策動と対決し、アジアにおける反帝共同闘争を 7・15共産同政治集会へ

とりわけ、名護新基地建設と浦添軍港建設を焦点にした沖縄の米軍基地の再編・強化を何としても阻止していかねばならない。名護新基地建設は、ヘリ基地反対協をはじめとした名護の労働者人民のたたかいと真っ向から敵対しつつ、代替施設協議会において具体的な工法を決定する段階を迎えていた。日米両国政府は、稻嶺による一五年の使用期限の要求すら踏みにじり、新基地建設に突き進んでいこうとしている。また浦添においても、保守市長の登場によって、那覇軍港の移設・新軍港建設が一挙に進行していくこうとしている。米兵の女性暴行事件に対する沖縄の労働者人民の燃えあがる怒りと名護新基地建設・浦添軍港建設とのたかいを結合させ、米軍基地の撤去に向けてたたかう沖縄の労働者人民への全力をあげた連帯戦に決起しよう。そして、有事立法・改憲へと突き進む小泉政権と対決し、今秋のブッシユ来日・訪韓阻止闘争を準備し、新ガイドライン安保を根底から搖るがすようなたたかいを切りひらいていかねばならない。

たたかう沖縄の労働者人民は、「基地あるかぎりこのような事件は無くならない」と事件の本質を見抜き、基地撤去に向けて全力でたたかいに立ち上がりつつある。一九九五年、米兵による少女暴行事件をきっかけにして、沖縄では八万五〇〇〇人が結集した県民大会が開催され、米軍用地強制収用阻止闘争と結合しつつ、広範な米軍基地撤去に向けたたかいが組織されていった。大田県政から稻嶺保守県政への転換など、この数年の間に政治状況は変化してきている。しかし、沖縄の労働者人民の基地への怒りと基地撤去の願いは何ら変化していない。「本土」の労働者人民は、この沖縄におけるたたかいに連帯し、沖縄・「本土」を貫いて米軍基地撤去のためにたたかい抜いていかねばならない。

米兵の沖縄での女性暴行事件弾劾

靖国神社公式参拝阻止

われわれ日本帝国主義足下の労働者人民も、こうした世界の状況から自由ではない。長期不況のなか、わが国においても労働者の権利の剥奪や、社会的に弱い立場におかれている人々にに対する生活破壊の攻撃が次々と打ちおろされ、倒産やリストラなどによる戦後最悪の失業率、

小泉政権との全面対決を進めよ

三万人を越える自殺者など、その否定的な現実が鋭くあらわれ始めてきている。最近台頭してきた「新階級社会論」にみられるように、かつて「一億総中流」といわれた日本社会に経済格差が広がっていることを認めたうえで、なおかつ弱肉強食の競争原理と「結果の不平等」の拡

資本主義の全世界的な危機が深まるなか、グローバル化した現代の巨大独占（多国籍資本）は激化する国際的競争戦での生き残りをかけ、新たな利益追求の手段として新自由主義攻撃を全世界の労働者人民に打ちおろしてきている。

第三世界、旧ソ連・東欧圏、資本主義国を含む文字どおり全世界において、すべてを市場にゆだねよ、競争こそが成長をつくりだすという新自由主義イデオロギーが流布され、全世界の労働者人民はさらなる搾取・収奪のただなかにたたきこまれている。規制緩和・民営化・福祉切り捨て、雇用流動化などの新自由主義政策のもとで貧富の格差が拡大し、労働者人民はますます不安定な生活を強いられている。たとえば、九七年のアジア経済危機のうちIMFに実質上の経済政策の決定権をにぎられた韓国では、新自由主義の別名にほかならない「構造調整政策」のもとで大規模な企業再編と解雇が進み、大量の失業者が生まれるとともに、非正規雇用労働者の割合が全労働者の約六割にのぼるというまさじい現実がもたらされている。またILOの二〇〇一年版世界雇用報告は、現在、一億六〇〇〇万人にもものぼる失業者が世界にあふれて

いると指摘している。第三世界諸国にあまねくみられるように、都市部のいわゆるインフォーマル・セクターや農村部に吸収された実質的失業者の大群、家庭にもどることを強いられた女性労働者などを考慮に入れれば、この数さえおそらくは控えめなものであろう。

生きの手段を奪われ、人間としての尊厳を踏みにじられた労働者・農民・都市貧民が、資本や政府や帝国主義との闘争に立ち上がっていくのは不可避である。巨大独占体の利益を代表する米帝をはじめとする帝国主義は、各国の反動支配政権と結びつきながら人民の抵抗闘争をおさえつけ、世界の各地で軍事的緊張を激化させ軍事的挑発をくり返している。クリントン政権に代わって登場したブッシュ政権は「ならず者」国家」規定を復活させ、ミサイル防衛計画をはじめとする新たな軍備拡張政策を進めながら、中国、朝鮮半島、イラクなどに対して露骨な軍事的圧力をかけつづけている。新たな戦争の危機が高まっている。全世界の労働者人民は帝国主義戦争によって、また帝国主義の軍事基地、軍隊の駐留によって、生活と生命の危機にさらされつづけている。

だが日本帝国主義ブルジョアジーのこうした策動は、自民党政治に対する人民の不満の高まりのなかで一定の停滞を余儀なくされてきたこともまた事実であった。これをいつきよに進めていく使命をもって登場したのが小泉政権である。

小泉政権の登場はまず、日本における新自由主義攻撃の本格的開始を意味している。小泉政権の「聖域なき構造改革」は、新自由主義そのものである。それは国際的に激化する独占資本間の競争戦において、日本の独占が劣勢を挽回していくために不可避免であると考えられており、

全世界をおあつ新自由主義政策

職場・地域・学園で日夜たたかう全国の同志・友人のみなさん。われわれ共産主義者同盟（全国委員会）は、きたる七月一五日、「新自由主義・生活破壊・戦争策動に立ち向かい、アジア人民との反帝共同闘争を推進する共産同政治集会」を開催することを決定した。すべてのみなさんがこの集会に結集し、われわれとともに二〇〇一年後半期の闘争を全力をあげてたたかいたいことを訴える。

新自由主義・戦争準備と闘い 共産同政治集会に結集せよ!



共産主義を人民の希望へ(写真は昨年の共産同政治集会)

烽火

月刊

1部 300円
(通常号)

**労働者人民の闘いの
進路を示す政治新聞**

取り扱い書店

- 東京／明治大學生協（東京都千代田区）摸索舎（同・新宿区）● 愛知／名古屋ウニタ（名古屋市千種区）
- 大阪／大阪ウニタ（大阪市天王寺区）三鈴書林（同・北区）関西大学
- 大学生協（大阪府吹田市）● 兵庫／神戸

**烽火の定期購読を
おねがいします**

■郵送(密封)1年分………3,000円
2年分………5,000円

お申し込みは大阪戦旗まで

■郵便振替

00930-0-63333

■銀行口座

第一勧銀 551-1058150

らをかつぎだし、何かが大きく変わるものではないかという国民的期待感を上から醸成し、一気呵成（いっきかせい）に事態を進めようとしているのである。六月二一日、政府の経済財政諮問会議は、「小泉内閣の『改革宣言』」（竹中平蔵経済財政担当相）なる「基本方針」を発表した。中小企業を傘下に抱える日本商工会議所のぞき、主要な経営者団体はこれを「全面的に支持する」（今井・経団連会長）と歓迎した。基本方針の冒頭に掲げられている「経済再生の再検討などを盛り込んだ『基本方針』は、基本的にブルジョアジーが自らつくりだしてきた諸矛盾を労働者人民の犠牲によって解決しようとするものにほかならない。これらによって、倒産・失業・非正規雇用労働者の増加、年金・医療など社会保障の改悪、増税による大衆収奪がいっそう進むことはまちがいない。小泉のいう「痛みを伴う構造改革」によって「痛み」を強いられるのは、ブルジョアジーではなく下層の労働者人民であることは明らかである。

また他方で小泉政権のもとで、日帝の戦争準備にいっそう拍車がかかるることは必至である。小泉はすでに、改憲や集団的自衛権行使の必要性を公言しており、ことし八月一五日には靖国神社を公式参拝する意思を明らかにしている。中谷防衛庁長官は、武器使用条件の緩和などPKO五原則を見直してPKF（国連平和維持軍）参加凍結解除の意向を示している。高い支持率を利用して小泉政権は、これまで自民党政権が手をつけられなかつた領域に踏み込んで、戦争出動の布石を着実にうち始めている。このなかで、外相・田中の「ミサイル防衛構想批判発言」をめぐる政治騒動に示されたような、米帝からの自立の必要を強調する部分と、あくまで旧来の日米同盟の枠内にとどまるうとする部分との

持率は八〇%を越え、まれにみる高率を保ちつつある。小泉人気を背景にして、六月の東京都議会選挙では、劣勢が伝えられた自民党は現有議席を上回る五三議席を獲得した。小泉政権の異常に高い支持率の背景には、自民党総裁選らしいのマスコミによる小泉賛美の意識的なありたてがある。マスメディアを駆使したブルジョアジーの世論操作が存在する。だが、それだけで事態を説明することはできない。何よりもわれわれは小泉政権の高支持率のなかに、そみておかねばならない。このかん暴露されたKSD事件や外交機密費問題などに示されるように、社会の底流には、政治の腐敗や社会的不正義に対する人民の広範な批判が、とりわけ不況の長期化と不況下での生活不安に対する深いいらだちや不満が渦巻いている。小泉政権が自民党の派閥の一つから生まれた政権にすぎないにもかかわらず、小泉政権を支持するたちは何らかの現状打破をこの政権に求めている。プロレタリアートの階級闘争の弱さが、支配政権に対する広範な幻想と支持を生み出しているのである。小泉は、そしてより本質的には独占ブルジョアジーは、かつてブルジョア革命においてブルジョアジーが都市貧民や農民を味方に引き入れようと自由・平等・友愛などの抽象的なスローガンを掲げたように、「改革」という旗のもとに労働者人民を引きつけながら、文字通り一握りの階級の利益を実現しようとしている。現状はそれが一定の成功をおさめている。

しかし、小泉人気は永続しない。それはボビュリズムであり、いずれ期待は裏切られる。幻想が現実によって打ち破られる前に、幻想は闘争の力によって粉碎されるべきである。

闘争が組織されねばならない。われわれは全国の同志・友人にたたかいに決起することを訴える。まず何よりも、小泉政権のもとで本格化しようとする新自由主義攻撃による労働者人民の生活破壊、そして戦争策動と真正面から対決する全人民的な闘争を組織するために奮闘することである。労働者階級の怒りを組織して階級的労働運動の前進を実現するとともに、有事立派な政治闘争を、プロレタリア国際主義と組合するためにはたかわねばならない。

同時に、この全人民的政治闘争を国境を越えた国際的な闘争へと発展させていくことである。

自國帝國主義打倒につらぬかれた闘争へと発展させていくためにたたかうことである。今秋期、われわれは一〇月のブッシュ来日・訪韓阻止闘争を、日韓労働者階級人民の共同闘争として組織する。さらに、一一月に予定される「グローバリゼーションと新自由主義による職場・生活・環境の破壊を許すな！朝鮮半島の自主的和平統一支持！日米の介入反対！日米安保の破棄を！沖縄－『本土』・韓国をはじめとする東アジアから米軍基地と米軍一〇万人体制を一掃するアジア国際大会」の開催を支持し、その成功に向けて全力をあげる。

そしてこれらのたたかいのただなかから、歴史的使命を終えた資本主義を根本的に変革するものとして、共産主義を復権させていかねばならない。日本共産党をはじめ、資本主義擁護の道へと転落した部分と闘争し、共産主義革命の勝利をめざすプロレタリアートの強固な前衛党を建設していかねばならない。

同志・友人のみなさん。二〇〇一年の後半期をいかにたたかうのか、その指針を指し示すものとしてわれわれは「七・一五共産同政治集会」を開催する。わが共産主義者同盟（全国委員会）は、すべてのたたかう労働者・学生のみなさんにおこなわれるこの集会への参加を強く呼びかけたい。

闘争の中から共産主義の復権を

ち破ろうとする危険な動向の一つとして、この点は注目しておるべきである。

●激動を続けるフィリピン情勢

「エストラーダ派の左派勢力の破綻と 比中間選手との左派勢力の破綻と

フィリピンでは、エストラーダ政権の崩壊後も、エストラーダ派の反撃とクーデター未遂事件が発生し、なお激動が続いている。このようななかでおこなわれた中間選挙において、フィリピン共産党が領導する民族民主勢力はバヤン・ムナという新しい政党を結成し、下院の三議席を獲得するという大きな前進を切りひらいた。

☆ 破綻したエストラーダ派の反撃 ☆

フィリピン・アロヨ政権は四月二五日、在任中の汚職の容疑でエストラーダ前大統領の逮捕に踏み切った。フィリピン史上初の大統領経験者の逮捕である。アロヨ政権側は一貫してエストラーダ派との妥協を追求してきたが、とことん腐敗し国家財産を食い物にして不正に蓄財をしてきた前政権を打倒した人民は、一貫してエストラーダと取り巻き一味の即時逮捕と厳正な裁判による処罰を要求してきた。四月二五日の前大統領の逮捕は、この圧力におされてのものであった。

これに対してエストラーダ派の政治家、財界人は持てる力と前政権時代にかすめとった財力を利用して反撃に転じた。彼らは翌日からエドサの女神の前で抗議集会を開き、それは日毎にふくれあがつた。その核となつたのは、とりまき政治家（上院議員であるエンリレ、サンチャゴ、ホナサンなどをはじめとする）、財界人とその支持者であり、連日地方から貸切りバスによる動員を行つた。それに加えて、エストラーダ支持派である二つの反動的宗教団体が大量動員をかけ、専属チャンネルを使って現場から二四時間のテレビ放映を行つた。彼らは「エリート支配にたいする貧者の運動」「第三次ピープルズ・パワー」と称して正体を偽り、「アロヨ退陣、エストラーダ大統領の復帰」をスローガンに掲げた。そして、この周囲を、多くの都市貧民層が、あるものは買収されて、ある者は政府、財界、社会的エリート層へのやり場のない怒りを抱いて取り巻いたのであった。その総数はピークであった四月二九日夜には四〇万人に達した。エストラーダ派は国軍の抱き込みに失

敗するなかで指導部が分裂したが、五月一日未明には、クーデターを狙う部分の煽動によつて二万人がマラカニアンの大統領府に進撃し周囲を包囲した。この大部分が都市貧民層であったといわれている。これにたいして政府は非常事態宣言を発し、国軍が武力をもつて鎮圧を行い掃討したが、このなかで四人の死者と多数の重傷者が生みだされた。

これらのエストラーダ派の動きにたいして、バヤン（新民族主義者同盟）をはじめとする民族民主勢力は、五月一日のメーデーを期して全国で人民を総決起させ、エストラーダ一味の反動的まき返しを粉碎しようとした。そして、「エストラーダ一味の嚴重処罰と不正蓄財の即時没収」「アロヨ政権による一切の妥協宥和を許すな」という一貫した立場を強く訴えた。同時に、アロヨ政権が多くの人民の困窮を放置していることへの反発を指摘し、反エストラーダ闘争のなかで彼らがアロヨにつきつけた切実な労働者・農民・市民が生活していくような経済社会政策を即時実施せよ」というスローガンを全面に掲げた。民族民主勢力はKMUメーデーに参加した後に、エドサ通りで大衆的デモを行ひ、市民勢力、教会勢力、左翼勢力など数万人を結集して行われた「第二次ピープルズ・パワー」勢力の統一集会に参加した。彼らはこの一連の事態の総括として、都市の貧困にあえぐ大衆が敵の最大の被害者でありながら、同時に敵か、ということであった。

(補注) パーティーリスト制度とは、少数民族にも下院の議席を保障するための制度との触れ込みで五年に設けられた少数政党比例代表制度である。登録された少数政党用に二五〇議席の二割に当たる五〇議席がわりあてられる。有権者は二票をもち、一票を地方区、一票を政党へ投票する。各政党は政党投票総数の二%を獲得することに一議席を得る（ただし一政党最大三議席まで）。しかし、現実には全国的大政党が、身代わりの少数政党をパーティーリストに登録し、その草刈り場にしている。前回の選挙では、在野勢力からはサンラカスが一議席、アクバヤンが一議席獲得した。

結果は、まず上院議員選挙において改選された一二議席のうちアロヨ派が八人、エストラーダ派が五人を占め、非改選とあわせアロヨ派がわずかの差で上院の多数派となつた。政府与党は下院でも勝利し、以降の多数派工作を含めて



☆ 民族民主勢力が下院二議席獲得 ☆

このクーデター騒ぎから二週間後の五月一四日、フィリピン中間選挙がおこなわれた。今回の選挙は上院（定数二四人の全国区）の半数三人、下院二五〇人、各地方自治体の長と議員の改選であった。

この選挙には二つの焦点があつた。ひとつはアロヨ政権にとって、エストラーダ派を抑え自己の政治的支持基盤を確立しうるか否かの天王山としての位置をもつたことである。ふたつめには、下院のパーティーリスト制度（補注）を利用して、それに初挑戦を行つた民族民主勢力がどのような成果を獲得することができるのか、ということであった。

このクーデター騒ぎから二週間後の五月一四日、フィリピン中間選挙がおこなわれた。今回の選挙は上院（定数二四人の全国区）の半数三人、下院二五〇人、各地方自治体の長と議員の改選であった。

この選挙には二つの焦点があつた。ひとつはアロヨ政権にとって、エストラーダ派を抑え自己の政治的支持基盤を確立しうるか否かの天王山としての位置をもつたことである。ふたつめには、下院のパーティーリスト制度（補注）を利用して、それに初挑戦を行つた民族民主勢力がどのような成果を獲得することができるのか、ということであった。

(補注) パーティーリスト制度とは、少数民族にも下院の議席を保障するための制度との觸れ込みで五年に設けられた少数政党比例代表制度である。登録された少数政党用に二五〇議席の二割に当たる五〇議席がわりあてられる。有権者は二票をもち、一票を地方区、一票を政党へ投票する。各政党は政党投票総数の二%を獲得することに一議席を得る（ただし一政党最大三議席まで）。しかし、現実には全国的大政党が、身代わりの少数政党をパーティーリストに登録し、その草刈り場にしている。前回の選挙では、在野勢力からはサンラカスが一議席、アクバヤンが一議席獲得した。

結果は、まず上院議員選挙において改選された一二議席のうちアロヨ派が八人、エストラーダ派が五人を占め、非改選とあわせアロヨ派がわずかの差で上院の多数派となつた。政府与党は下院でも勝利し、以降の多数派工作を含めて

圧倒的多数をしめることが確定した。フィリピンの既成の全国政党は官僚とブルジョアジーと地主の政党であり、政党とはいえ、イデオロギーや理念での結集は弱く、むしろ現実の政権中央との金権利害関係で離合集散するグループに近いものである。

民族民主勢力は、バヤンを基盤にしてサトール・オカンボ議長のもとに「バヤン・ムナ（人民を第一に）」という政党を結成し、この選挙戦に積極的に備えた。選挙の位置づけについては、議会を敵の金権争奪と大衆欺まんの場として放置するのではなく、敵の戦場にのりこんで基層大衆の利益を代表するというものであり、そのために宣伝戦を行うだけではなく、実際に議席を取るというものであった。

その結果は、バヤン・ムナが政党投票のうち最大の一六%の得票率を得て三人の議席を獲得し、オカンボ議長をはじめKMU議長のクリスピン・ベルトランさん、女性組織ガブリエラ議長のリサ・マーサさんの当選が確定した。この

勝利は、選挙運動における全国津々浦々での宣伝戦のみならず、基本的には、この間のバヤンの人民の要求にもとづく大衆運動への積極的取り組み、とりわけ、エストラーダ打倒闘争における共同工作と戦闘的牽引によって大衆的信頼と認知を獲得したことが背景にある。また、この選挙結果は民族民主勢力の組織力の回復を示すものである。

同時に、たしかに議会への進出は民族民主勢力に大きな歩みをあたえたが、それとともに新たな課題、任務もつきつけられる。敵の陣地に入り込んだ人民の斥候に対しても熾烈な包囲殲滅攻撃が打ちおろされ、また巧妙な解体戦術によって人民と離反させ、信頼を失墜させるための攻撃がなされるることは間違いない。それに抗し、大衆闘争を堅持発展させつつ、これと首尾よく結合して議会での闘争を推進していく任務が横たわっている。組織的には、広範な大衆闘争機関と公然たる政党の区別と連関を打ち立てる課題が控えている。フィリピン人民の革

命運動の前衛にとって、これらの挑戦は避けて通ることができない試練である。われわれもフィリピン基層大衆の組織との結合を深め、アジアにおける日米帝の経済的・政治的・軍事的支配の強化にたいして共同闘争を強めることによつて、上記のフィリピン人民の挑戦に最大限の連帯を行わなければならない。

また、ブッシュ政権のもとで進行する米帝の世界戦略の見直しのなかでは、フィリピンへの米軍の再駐留の野望が強まっている。新ガイドライン安保を中心とした日米共同作戦態勢がますます強化されるなかで、われわれは米軍をアジアから総撤収させ、新ガイドライン安保を粉碎するためのたたかいをさらに推進していくねばならない。ここにおいて、一九九一年にフィリピンの米軍基地を撤去させた民族民主勢力の持つ位置は大きい。フィリピン人民との連帯を強化し、米軍のフィリピン再駐留の野望と対決し、AWCのもとでの反帝國際共同闘争をさらばに発展させていこうではないか。

■資料・フィリピン民族民主戦線(NDF)の声明

フィリピン民族民主戦線(NDF)の対政府和平交渉団は、下院のパーティーリスト選挙において議席獲得を果たしつつある「バヤン・ムナ」はじめ民衆を基盤にした諸政党の皆さんにお祝いをのべる。

皆さんは大買弁資本家と地主の利害を代表する伝統的な政党に支配されてきた議会選挙においても大きな風穴をあける勝利をかちとった。また、人民の政治意識が高まっていくなかでは、伝統的な選挙の常套手段とされた「銃・暴力團・金錢」に訴えるやり口も皆さんの勝利を阻むことができないことを証明した。そして、別にとつて代わりうる現実的な方針があれば、

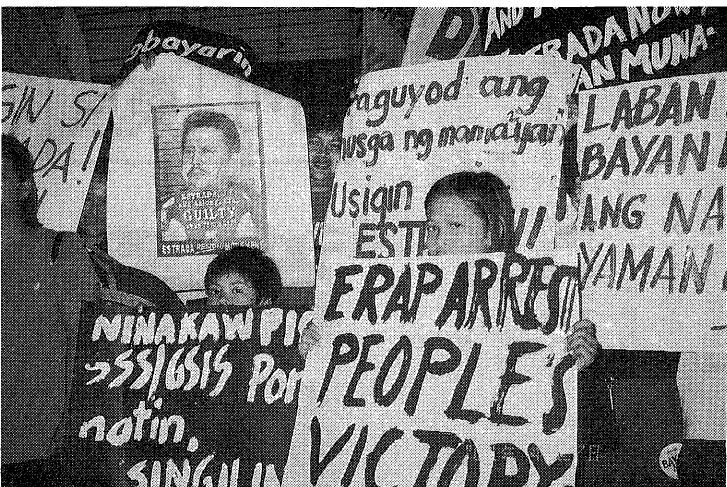
人民は賢明な選択をしうることを示した。

皆さんの勝利は、根本的な社会変化をめざす労働者・農民・従業員など基層大衆にとつてもう一つの闘争領域を切り開いた。労働者・農民・漁民・青年・女性・教師・医療労働者・公務員労働者などの各階級階層の大衆組織に支えられることによって、議会を、フィリピン社会の基本的な病を暴露し、多国籍企業やIMF・世界銀行など国際融資機関によるフィリピン人民・国家への搾取強化に対し、立法で阻むなどの護民官の役割を果たす場所として使うことができる。

この仕事は困難な仕事であろう。搾取階級の代理人達に包囲されて、みずからが孤独な改革者のような思いにとらわれるかも知れない。腐敗した支配体制のなかに転落させ引きづり込む圧力に不斷にさらされるであろう。しかし、皆さんは大衆の力に依拠しているかぎり、清廉で誠実に人民に奉仕する輝かしい手本となるであろう。

あらためてお祝いを述べ皆さんの有意義な議会活動を祈る。

二〇〇一年六月一〇日



エストラーダ派の反撃とたたかうフィリピン人民(4月27日)



BAYAN・MUNA(バヤン・ムナ)の旗が高くかかげられた



米比合同軍事演習に反対する民族民主勢力(4月27日)

6・9 東京

安保・沖縄問題を訴えて集会 沖縄と韓国からゲストを迎える

六月九日、東京の渋谷労働福祉社会館において「沖縄の海と自然・安保と基地を考える六・九都民の集い」が、行動する都民の会とアジア共同行動・首都圏の共催のもとで行われた。この集会は、沖縄と韓国からゲストを迎え、小泉政権のもとで加速する日本の戦争体制づくりに対し、基地・安保問題を都民に強く訴えていくものとして行われた。集会には、約八〇人が参加した。

最初に主催者からのあいさつがあり、小泉人気のなかで進行する事態に警鐘を鳴らし、沖縄や韓国の民衆とともに小泉政権の戦争準備と対決していくことの重要性、さらに石原都政下において侵略戦争と植民地支配を正当化する「つくる会」教科書の採択に反対するたたかいを強めていくの緊急性をアピールし、この日の集会の成功を訴えた。

次に連帯あいさつとして、この七月の参議院選挙に沖縄基地問題を軸に立てて立候補を予定している新垣七二年の「本土復帰」時には解決できなかったことを東京での活動を通して実現していくと参院選への抱負を述べた。新垣さんは、さらに、天皇メッセージに示されるようにヤマトの権力者によって沖縄が米軍支配のもとに置かれてきたこと、しかし七〇年代からの沖縄選出の国会議員の活動の弱点として、ガス抜きされ、自立・自治の精神がつぶされてきたことを教訓としつつ、沖縄問題を全国的な問題として訴え、小泉政権

の弱点である戦後処理と沖縄問題を突き出して積極的に東京に出て行くとアピールした。

韓国からのゲストは、日本に来て恐ろしさを感じると語ることで、歴史を歪曲する「つくる会」の歴史教科書とそれをめぐる日本の状況を告発した。韓国からのゲストは、さら

に、朝鮮半島の自主的平和統一を疎外してきた米国の支配と駐韓米軍、それに対する反米闘争について語った。朝鮮戦争以来、ソウルの中心部に龍山米軍基地があり、反米闘争はひどい弾圧を受けて米軍の旗を燃やすだけで逮捕という状態にあったが八〇年の光州民衆蜂起を転機として、米文化院への抗議行動が取り組まれてきた。その後、大多数が経済的に何とか食べて行ける生活の流れに流れ、闘争心が弱くなっていた時代もあったが、九七年のIMF勧告を受け、数百万の失業を出し、米帝IMFの生活破壊を多くの民衆が実感するなかで、反米闘争が再び盛り上がってきた。

韓国人一人ひとりの顔を見ていると恐ろしさを感じると語ることで、歴史を歪曲する「つくる会」の歴史教科書とそれをめぐる日本の状況を告発した。韓国からのゲストは、さら

に、朝鮮半島の自主的平和統一を疎外してきた米国の支配と駐韓米軍、それに対する反米闘争について語った。朝鮮戦争以来、ソウルの中心部に龍山米軍基地があり、反米闘争はひどい弾圧を受けて米軍の旗を燃やすだけで逮捕という状態にあったが八〇年の光州民衆蜂起を転機として、米文化院への抗議行動が取り組まれてきた。その後、大多数が経済的に何とか食べて行ける生活の流れに流れ、闘争心が弱くなっていた時代もあったが、九七年のIMF勧告を受け、数百万の失業を出し、米帝IMFの生活破壊を多くの民衆が実感するなかで、反米闘争が再び盛り上がり始めた。

韓国人一人ひとりの顔を見ていると恐ろしさを感じると語ることで、歴史を歪曲する「つくる会」の歴史教科書とそれをめぐる日本の状況を告発した。韓国からのゲストは、さら

に、朝鮮半島の自主的平和統一を疎外してきた米国の支配と駐韓米軍、それに対する反米闘争について語った。朝鮮戦争以来、ソウルの中心部に龍山米軍基地があり、反米闘争はひどい弾圧を受けて米軍の旗を燃やすだけで逮捕という状態にあったが八〇年の光州民衆蜂起を転機として、米文化院への抗議行動が取り組まれてきた。その後、大多数が経済的に何とか食べて行ける生活の流れに流れ、闘争心が弱くなっていた時代もあったが、九七年のIMF勧告を受け、数百万の失業を出し、米帝IMFの生活破壊を多くの民衆が実感するなかで、反米闘争が再び盛り上がり始めた。

韓国人一人ひとりの顔を見ていると恐ろしさを感じると語ることで、歴史を歪曲する「つくる会」の歴史教科書とそれをめぐる日本の状況を告発した。韓国からのゲストは、さら



沖縄基地問題を訴えて行われた6・9都民のつどい(東京)



6・18 アジア労働者国際連帯集会(6月18日・愛知)

各地でアジア共同行動集会

韓国労働運動から提唱を受け アジア人民の國際連帯を誓う

今年の六月もアジア共同行動集会が全国各地で開催された。この六月の一連の取り組みは、小泉政権が「構造改革」を打ち出し、新自由主義的再編と戦争準備を加速させていこうとするなかで、先行して IMF 支配・新自由主義構造調整とたか抜いてきた韓国の労働運動活動家の参加を得て開催された。

シーア族が、労働者に対してパスポートを取り上げ、賃金も払わないという奴隸労働を強要し、抗議した労働者に対して拉致、監禁、暴行が行われていることが報告され、たかに對する支援が要請された。同時にそれを見逃す警察・入管当局にたいする追及のたたかいの必要性が訴えられた。

名古屋市教育委員会および愛知県教育委員会に対する「つくる会」の歴史教科書の不採択を要請する請願の提出に関する説明がなされた後に、韓国からのゲストの発言を受けた。韓国からのゲストは、「グローバリゼーションと韓国における構造調整政策、ブロック化と日韓投資協定、教科書問題と日本によるアジアの戦争体制強化」などの、広範なテーマで、アジア共同行動日本連事務局より「今秋に日本で開催されるAWC の国際幹事会およびアジア国際大会への協力と、アジア共同署名の推進」などの提起がおこなわれた。

緊急発言にたたなった笹田労の仲間からは、インド料理店を経営するバク

こと、労働者の国境を越えたたかに對する阻止できることが力強く訴えられた。その分析の深さと的確さは、韓国労働運動の階級性の深さを反映したものであり、韓国労働運動の力強い前進を実感させるものであった。

引き続いて集会参加者から、構造調整政策に対する韓国民衆のたたかの教訓や、大統領選に対する在野運動の取り組みなどについて活発な質問がだされた。愛知の地で、左派労働運動に基盤を置いたアジア共同行動のとりくみは、アジアの労働者と連帶した日米の戦争策動・動員に對するたたかいとして定着してきたが、たたかいをさらに強めることができた。愛知の隣県の岐阜と三重の私立学校である。「つくる会」の教科書は、教科書の採用をいち早く表明したのは、が、たたかいをさらに強めることができた。愛知の隣県の岐阜と三重の私立学校である。「つくる会」の教科書は、戦争へと若者を動員していく思想をつくりだしていくものである。愛知でも戦争動員反対のたたかいの前進に向けさらに奮闘していくことを、集会参加者一同が固く決意して集会

が、たたかいをさらに強めることができた。愛知の隣県の岐阜と三重の私立学校である。「つくる会」の教科書は、戦争へと若者を動員していく思想をつくりだしていくものである。愛知でも戦争動員反対のたたかいの前進に向けさらに奮闘していくことを、集会参加者一同が固く決意して集会

は終了した。

6・19 大阪



アジア共同行動大阪集会(6月19日)



6・21 京都のつどい

6・21 京都

京都における六月アジア共同行動集会は、「新自由主義・戦争策動と対決し、アジア人民の共同の反撃を! 6・21 京都のつどい」という集会名称のもとで開催された。この集会には約50人が参加した。

京都における六月アジア共同行動集会は、小泉政権の戦争策動や歴史歪曲教科書攻撃に反対し、韓国をはじめとしたアジアの民衆との連帯の強化しようまとめて集会は終了した。



歴史歪曲に抗議して文部科学省を包囲(6月12日・東京)



京都市教育委員会に申し入れを行う京都実行委(6月21日)

擊を繰り返すなかで、これははね返して行われたものである。

集会では、緊急会議の報告を松井やよりさんが行い、基調報告として高橋哲哉さんと福島瑞穂参議院議員が発言した。この集会には、アジア

が会場に満ち満ちた。

夕方の文部科学省への包囲抗議闘争の集約として、V A W W - N E T ジャパン、キリスト者平和ネット、子どもと教科書全国ネット21の三者が共催して取り組まれた。侵略戦争賛美の右翼ファシストが連日妨害の襲撃をしてきた。

「歴史歪曲教科書を許さない！・アジア連帯緊急集会」が、六月二一日、東京の教育会館ホールで一〇〇〇人近い参加者を集めて開催された。これは、六月一〇・一一日の緊急国際元日本軍慰安婦の方と挺対協、フィリピンのリラ・ピリピー、さらに支援団体をはじめアジア各国から約五〇人が参加した。そして、韓国の

6・11 東京

歴史全典にアジアの怒り

アシア連帯緊急集会開催
翌日は全世界で同時行動

都の事務局長である山本さんより基調の提起があった。基調は、小泉政権が打ち出す新自由主義的「構造改革阻止のためのたたかい」、日韓投資協定反対運動などを担つてきており、今回の集会はそうした展開を集約するものでもあった。

集会の冒頭、アジア共同行動・京都の事務局長である山本さんより基調の提起があった。基調は、小泉政権が打ち出す新自由主義的「構造改

アジア共同行動・京都は、この春から夏にかけて、京都の諸団体・個人とともに、「つくる会」教科書の

革」および集団自衛権の行使など深まる戦争準備と対決し、①民衆への

基調を受けたものとして、「沖縄戻
基地闘争と連帶し、有事立法・改憲
を阻止しよう」「日韓投資協定の簽

国労働者・民衆のたたかいの報告に
対して、会場からは労働運動における
未組織の組織化の問題などの質問

からの報告があった。さらに、「厭史歪曲教科書を許さない！アジア連帯緊急集会」の宣言および行動計画が読み上げられ、採択された。「「くる会」教科書の採択阻止に向けて地域・全国・アジア各国での行動や

れ、世界七一か国・一二五都市で同時集会がおこなわれた。文部科学省前には、韓国からの代表団約一〇〇人を含めて三〇〇人が集まつて抗議集会が取り組まれた。

「らの報告が
企画教科書
緊急集会」
読み上げる会」教科書
域・全国・

京都

会員登録・ログイン

京都
玉陛機関に対する行動をおこなつて、
いくことが確認された。

書に対する抗議の声に応え、民衆と連帯し、「つくる会」教科書の採択を阻止しよう。

する歴史教科書を許すな！有事立法権と憲法改悪に反対しよう！生活破壊と戦争への道を許すな！六・八京都集会が開催された。主催は、生涯行委である。この実行委の取り組み

る会」の教科書の採択を阻止することを中心課題にして開催された。

A black and white photograph showing three men in dark suits and ties seated around a table. They are all looking down at a stack of papers or documents on the table in front of them. The man on the left is partially visible, the man in the center is more prominent, and the man on the right is also looking down at the papers.

の教科書の個々の問題点を具体的に指摘し、それが子どもたちに与える危険な影響を訴えた。集会では、また韓国民主労働党の方からの発言を受けた。集会では、この他に、沖縄反基地闘争に連帯するアピールや有事立法・改憲に反対する闘争へのアピールが行われた。

実行委では、つくる会教科書の採択阻止のための行動として、京都市教育委員会への請願を行い、六月二一日には、来日中の韓国の労働運動活動家とともに教育委員会への署名提出、申し入れ行動を行った。